



【教育目標】 自ら学び正しく判断して行動する国際性豊かな児童生徒の育成を
~~~~ 一人一人が輝く子どもの姿を求めて ~~~~

☆5月の目標

☆あとしまつの「あ」

☆整理・整とん

☆笑顔で  
あいさつを  
かわそう

子どもたちの作文から

薫風の季節を迎えています。公園の木々や草花が夏よ来いと呼びかけているような清々しく緑の美しい季節です。来週から6月、1学期の学習のまとめの季節でもあります。

時計の時間と心の時間を読んで  
橋本 佳奈 (6年1組)  
筆者が一番伝えたかったことは、「心の時間」を頭に入れて「時計の時間」を道具として使うという、時間と付き合うちえを持つ、ということです。私は、同じように思います。なぜなら、いろいろな人と付き合っていく中、そのようなちえは必要だからです。そして、人は自分のテンポと合わない作業をしていると、ストレスを感じるのです。ちゃんと「心の時間」と「時計の時間」を使い分けて「時間」と向き合っていくことも大切だと思いました。例えば、学校に行く前に、自分のペースよりも早く起きなければならないので、たまにストレスを感じます。このように、私は筆者の意見について共感しました。

時計の時間と心の時間を読んで  
山内 絢香 (6年1組)  
筆者が一番伝えたいことは、生活の中で心の時間に目を向けることと、時間と付き合うちえだと思います。教科書を読むとき、早く読む人、ゆっくり読む人と別れます。その時を思い出して、私は共感します。たとえば、みんなで200mコースを走るとします。そして、5分後、どのくらい走ったかを比べてみたとき。はやい人は4周5周と走っています。遅い人は、5分で2周くらい走っているでしょう。一人ひとりのテンポはことになっていて、みんなで同じことをしていても、それぞれのテンポはちがう、ということです。だけど、私は、物が少ない部屋よりもたくさんある部屋の方が時間の進み方が遅く感じる、ということは共感しません。それは考えたことがないからかもしれません。それはゲームをしている時、自分の部屋とリビングは同じように感じます。本を読んでいる時でも、宿題をしているときも同じです。ただ単に集中しているからかもしれません。何をやっても時間が早く進みます。けれども、寝るときだけはゆっくりと進んでいるように感じました。私は筆者の考えに共感する所としない所もあるけど自分のテンポだけではなく、他人のテンポもこれからは考えなくてはいけないなと思いました。

☆配布物のお知らせ

1 学校便り 8号

☆保護者会からの配布物

①

...主な日程...

- ・6月 4日 第1回漢字検定
- ・6月25日 1学期終業日
- ・8月 6日 2学期始業日

わたしのかぞく  
竹村 朋花 (二年二組)  
わたしのかぞくはやさしいです。なぜなら、おとうさんは、みんなのことをきいてくれて、お母さんはみんなにごはんやパンをつくってくれます。そして、一人目のおにいちゃん、二ばん目のおいちゃん、そして、わたしのべんきょうちゃん、わたしのよきょうちゃん、わたしが大好きです。

まこくくま  
したろわの大ききま  
がいの木くう、やくら  
あなをて、こうえん(二年二組)  
たとおました。かわい  
かおまた。いさ  
くもた。いさ  
なり、いさご

ひろせしゅうじ  
(二年二組)  
ぼくは、日ようびの日に、さくらをみます。そのときに、もう春だな、おもいました。

たんぼぼ  
片山 ちはる  
(二年二組)  
このまえ、学校のまえ、学校のポを見つけた。ポはまだ、黄いろで、毛がはえてません。毛は、毛がはえてみたら、毛がはえて白でした。

たんぼぼ  
きくちるか(二年二組)  
まえ、こはるちゃんといっしょにあそんでいたときに、たんぼぼのわた毛がありました。たんぼぼの毛がはりました。

